

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏 名	たけうち ゆきえ 竹内 幸絵
(研究テーマ名) モダニズム期から戦後高度成長期までの関西の広告についての調査・歴史研究	
(研究活動実績) 1、旧「萬年社」コレクションの調査・データベース整備 2012 年度研究代表者として採択された科研基盤研究(C)「旧萬年社所蔵資料による広告史の基礎研究」の計画に基づき、2 年目の今年もコレクションの調査・整備を実施。手つかずであった 1900 年代古ポスター・1990 年代ポスターの目録を作成、コレクション目録を完成させた。 2、著書（文筆担当） 「広告デザインと前衛芸術、その大阪での融合」 pp.54-57、pp.18-19（図版解説）、大阪大学総合学術博物館叢書 9『戦後大阪のアヴァンギャルド芸術-焼け跡から万博前夜まで-』橋爪節也、加藤瑞穂編著、大阪大学出版会、2013 年 3、専門誌特集記事の監修 特集「広告界の世界」の監修と執筆、『アイデア』第 61 巻第 5 号（通巻 360 号）、誠文堂新光社、147-178 頁、うち論文執筆部『『アイデア』が『広告界』だったころ』 pp.147-151 4、学会・研究会等での報告と講演 (1) 大阪大学総合学術博物館でのミュージアム・レクチャー：2013 年 5 月 18 日（土）テーマ：「デザインと前衛芸術、その大阪での融合」 (2) シンポジウム「第 5 広告媒体論——ポスターの理論と歴史」への登壇、2013 年 10 月 20 日（日）：発表テーマ「ポスターがニューメディアだった頃——広告に目覚めた美術家たち」於；京都国立近代美術館講堂、美術フォーラム 21 刊行会主催／協賛：醍醐書房 (3) 立命館大学プロムナード・セミナーへの出講：2013 年 10 月 21 日（月） テーマ：「大阪の美意識を探る—広告デザインの表象から」 (4) 日本広告学会大会報告：2013 年 11 月 16 日（土）：研究プロジェクト助成「聞き取り調査による戦後日本広告史の基礎研究」の成果報告。(主)土屋礼子（早稲田大学）、(副)竹内幸絵 5、研究会「大阪メディア文化史研究会」第 24 回、第 25 回、第 26 回、第 27 回を主催 (1) 2013 年 5 月 11 日（土）：博士論文合評会「正月用引札の視覚文化論：吉兆図像と広告機能の関係」報告者：熊倉一紗氏（提出：同志社大学）於；Cafe-Intellektuellen kyoto (2) 2013 年 7 月 6 日（土）：「広告人 O B インタビューから戦後広告史を考える」報告者：土屋礼子氏（早稲田大学）、於；大阪市立大学文化交流センター（梅田）小セミナー室 (3) 2013 年 10 月 29 日（火）：「創業 110 年記念ポスターグラフィックス展」見学会、於；株式会社クラブコスメチックス文化資料室 (4) 2013 年 12 月 14 日（土）：「関西 CM 史を振り返る —藤井達朗と堀井博次をめぐって—」報告者：難波功士氏（関西学院大学）於；京都国際マンガミュージアム研究室	